

政策	3章 政策4	平和を希求し未来へ発信する	
主管課	政策推進課	関係課	社会福祉課

1. 政策の方針・指標・関係者の意見等

(1) 政策の対象と方針

対象	政策の方針
市民、多くの人々	戦争遺構の持つ歴史的教育的価値や糸満市史においての重要性を踏まえ、現状における安全性を考慮しつつ調査研究・保存・活用を進めるとともに、平和教育等を推進していきます。また糸満市平和祈念祭をはじめ、平和の尊さを内外に発信する事業を展開します。 世界恒久平和を願い、「糸満市平和都市宣言」の理念の実現に引き続き取り組みます。

(2) 政策の基礎的データとなる指標

基礎的指標			単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	人口	人		見込値								63,241
				実績値	61,646	62,099	62,270	62,185	62,590	62,406	62,255	
②	市域内の壕・ガマの数	箇所		見込値								
				実績値	-	-	-	240	240	240	240	
③				見込値								
				実績値								

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト

					前期基本計画期間							
指標区分		指標	単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (前期目標値)
A	総合計画	糸満市平和祈念祭参加者数	人/年	目標値					200	300	400	500
				見込値					200	300	400	500
				実績値	220	220	0	0	200	200	200	
B	総合計画 (総合戦略)	糸満市平和ガイド人数	人	目標値					135	140	145	150
				見込値					135	140	145	152
				実績値	102	102	119	129	136	143	152	
C	参考	慰霊祭への参加協力回数	回	目標値					40	58	58	58
				見込値					40	58	58	58
				実績値	-	-	-	58	40	58		
D	参考	戦争遺構デジタルコンテンツ視聴回数	回	目標値								500
				見込値								500
				実績値	-	-	-	-	-	-	-	
E				目標値								
				見込値								
				実績値								
F				目標値								
				見込値								
				実績値								
G				目標値								
				見込値								
				実績値								
H				目標値								
				見込値								
				実績値								
施策コスト	施策に関する事務 事業の合計額	事業費	千円					6,038	2,665	11,254	0	0
		国・県支出金	千円					0	0	0		
		地方債	千円					0	0	0		
		その他	千円					5,978	1,500	9,521		
		一般財源	千円					60	1,165	1,733		

※令和4年度以前の数値については、把握できるもののみ入力。

(4) 総合計画等の指標の設定理由及び目標値・見込値の考え方

A	総合計画	糸満市平和祈念祭参加者数
	設定理由	平和の尊さを市内外に発信する糸満市平和祈念祭の参加人数を把握する。(政策推進課資料)
	目標値	他の関連イベントとの共催等により参加者数を増加させ、これをもって目標達成を目指す。
	見込値	令和7年度は、戦後80周年事業として事業規模の拡大等を図ることで参加者数の増加が見込めることから、これをもって目標達成を見込む。
B	総合計画（総合戦略）	糸満市平和ガイド人数
	設定理由	平和を語り継ぐ担い手として、糸満市平和の語り部育成事業(旧糸満市平和ガイド育成事業)の講座を修了した人数を把握する。(政策推進課資料)
	目標値	コロナ禍もあり、令和4年度実績の5人程度の増加を見込む。
	見込値	令和6年度で目標達成をしており、令和7年度は新たなガイドの育成に係る研修を行わないため、令和6年度と同数と見込む。
C	参考	慰霊祭への参加協力回数
	設定理由	平和の発信の観点から、市内にある各慰霊碑の慰霊祭に市が参加協力を行っていることを周知する。(社会福祉課資料)
	目標値	基本として市内で開催されているもので、市に対して案内のある慰霊祭について参加する。
	見込値	令和5年度以降は、令和3年度の実績値と同等の参加協力回数を見込む。
D	参考	戦争遺構デジタルコンテンツ視聴回数
	設定理由	後世へ沖縄戦の実相を伝えるため、制作した戦争遺構デジタルコンテンツの視聴回数を把握する。視聴回数は、市観光プロモーション動画を参考に設定する。(動画公開から2年間で視聴回数約1,000回)
	目標値	令和6年度に動画を作成する。令和7年度は、戦争遺構デジタルコンテンツの視聴回数年間500回を目指す。
	見込値	令和7年度は、戦争遺構デジタルコンテンツの視聴回数年間500回を見込む。
E		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
F		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
G		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
H		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	

(5) 環境変化（個別計画策定状況、近年・今後の外部環境の変化等）

・戦争体験者の高齢化 ・慰霊碑を管理している遺族会や自治会関係者の高齢化 ・ガマ等の戦争遺構の風化

(6) 関係者の意見・要望

・市民等から、令和7年は戦後80年の節目であり、平和に関する一層の取り組みが求められるている。

2. 政策の実績評価

(1) 令和7年度（前期目標値）の指標の達成見込み

指標A	総合計画	【糸満市平和祈念祭参加者数】						
<input checked="" type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由	令和7年度は、「戦後80年平和祈念事業」として事業規模の拡大等（平和祈念祭・戦後80年平和祈念イベント・奉納エイサー等）を図ることで参加者数の増加が見込めることから、これをもって目標達成を見込む。							
指標B	総合計画（総合戦略）	【糸満市平和ガイド人数】						
<input checked="" type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由	令和6年度において、令和7年度の前期目標を達成した。							
指標C	参考	【慰霊祭への参加協力回数】						
<input checked="" type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由	平和の発信等を目的として、市内で行われる慰霊祭に参加する。令和5年度以降は、令和3年度の実績値の水準が続くと見込む。							
指標D	参考	【戦争遺構デジタルコンテンツ視聴回数】						
<input checked="" type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由	戦争遺構デジタルコンテンツ（名城の水タンク、轟壕）を動画サイトや市ホームページで閲覧できるよう公開し、併せて、周知を図ることで視聴回数500回を目指す。							
指標E		【						
<input type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由								
指標F		【						
<input type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由								
指標G		【						
<input type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由								
指標H		【						
<input type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由								
指標の数	4指標	うち現在の計画、取り組みにより目標達成見込み	4指標 (100.0%)	うち新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	0指標 (0.0%)	うち現在の想定では目標達成が困難	0指標 (0.0%)	

(2) 前年度比較（令和4年度の市の取り組み・成果との比較）

評価	成果がどちらかと言えば向上した	【5段階評価】 かなり向上～どちらかと言えば向上～ほとんど変わらない～どちらかと言えば低下～かなり低下
理由	「糸満市平和ガイド人数」の指標の結果が向上した。	

(3) 他自治体との比較（令和5年度の実績の県内他市等との状況比較）

評価	他自治体と比べてかなり高い（良い）水準である	【5段階評価】 高い水準～どちらかと言えば高い水準～ほぼ同水準～どちらかと言えば低い水準～低い水準	比較対象	県内11市
理由	・平和に関係するイベント等の開催、平和ガイドの育成、戦争遺構の保全など、他市と比較し平和に係る取り組みを積極的に行っており、高い水準にあると考える。			

3. 政策を推進する上での現状と課題及び今後の取組方針

(1) 令和6年度の現状（令和5年度の実績を踏まえた政策（施策の展開）の取り組み）

・戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝える取り組みとして、「平和の語り部育成事業」を実施している。 ・糸満市平和祈念祭を毎年度実施している。 ・姉妹・友好都市交流において、平和学習などを通して戦争の悲惨さと平和の尊さを発信している。 ・戦争遺構は自然地形を利用したものが多く、岩盤の風化、一部崩落など十分に安全が確保されていない自然壕が存在している。 ・戦争遺構のほとんどが民有地に所在しており利活用が難しい。（現状として、本市が行うことのできる最も現実的な保全が「デジタル映像記録」であると考えらる。）

(2) 令和6年度の課題（政策（施策の展開）を推進する上での課題）

・平和の語り部育成事業の対象を大人まで拡大したが、1人の参加のみであった。（平和ガイド業だけで生計を立てることは難しく、若者が少ないといった背景がある）。 ・令和6年度末に公開予定の轟壕デジタル映像の効果検証を行った上で、令和8年度以降に戦争遺構の保全・活用の検討を行うこととした。
--

(3) 令和7年度取組方針（令和6年度の現状・課題を踏まえ、令和7年度に優先的に取り組む予定のもの）

・戦後80年の節目に当たり、平和に関する各種イベント等を開催する。また、核となるイベントとして「戦後80年平和祈念事業」を開催し、次世代へ沖縄戦の実相や教訓伝える。 ・轟壕など戦争遺構デジタルコンテンツの効果検証を行う。 ・平和の語り部育成事業の在り方について検討する。令和7年度は新たな語り部の育成に係る取り組みは行わず、過年度に育成した語り部を「戦後80年平和祈念事業」等で活用する。
--